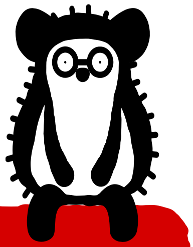
朝日新聞

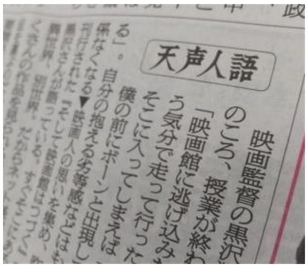


7月のおすすめ

記者サロン

記者と読者　一緒に学び考える

記者と読者のみなさんをつなげ、一緒に学び、考えていくためのページを始めます。様々なテーマについて、取材現場の記者や専門家らが深く語り合う「記者サロン」のやりとりを詳報、寄せられたご意見もご紹介します。毎月第１日曜日翌日と第３日曜日翌日です。



天声人語

「まなび場天声人語」スタート

「天声人語」を題材に、英語・日本語の読解力を高めませんか。毎月第１日曜日の翌日は天声人語を日本語と英語の対訳形式で掲載します。単語や熟語の解説も。第３日曜日の翌日は見出しを考えるコーナーです。寄せていただいた作品から優秀作を紹介します。

数独

制作・ニコリ

「数独」朝刊にも　火～金曜に

毎週土曜日の別刷りｂｅや朝日新聞デジタルで大人気の数字パズル「数独」が朝刊にも登場です。火曜日から金曜日の社会面に掲載します。金曜日はクイズ付きで、正解者の方から抽選で景品をプレゼント。朝の「脳活」やランチタイムの気分転換にぴったりです。

お申し込みはこちら

QRコードを読み込んでアクセス

７日間無料お試し

ご購読

ウェブページからアクセス

→７日間無料お試し

→ご購読

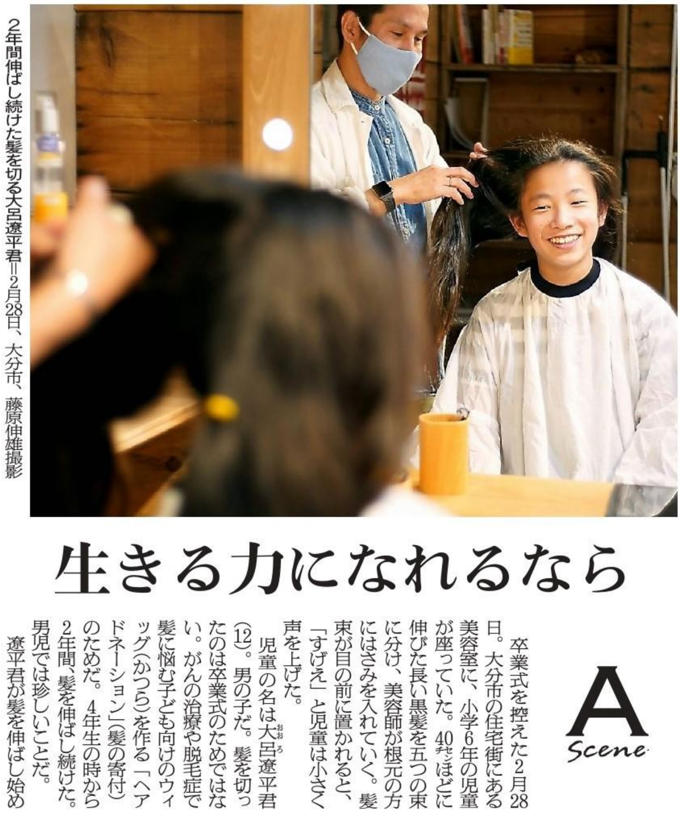
お電話からのお問い合わせ

☎0120-33-0843

お電話での受付は午前７時～９時。
配達手続きまで、お時間がかかる場合がございます。
ご了承ください。

※紙面予定はニュースの発生などにより、変更になる場合があります

朝日新聞
最近の注目記事



2年間伸ばし続けた髪を切る大呂遼平君＝2月28日、大分市、藤原伸雄撮影

生きる力になれるなら

卒業式を控えた2月28日。大分市の住宅街にある美容室に、小学6年の児童が座っていた。40センチほどに伸びた長い黒髪を五つの束に分け、美容師が根元の方にはさみを入れていく。髪束が目の前に置かれると、「すげえ」と児童は小さく声を上げた。

児童の名は大呂（おおろ）遼平君(12)。男の子だ。髪を切ったのは卒業式のためではない。がんの治療や脱毛症で髪に悩む子ども向けのウィッグ(かつら)を作る「ヘアドネーション」(髪の寄付)のためだ。4年生の時から2年間、髪を伸ばし続けた。男児では珍しいことだ。

遼平君が髪を伸ばし始め

僕の髪　妹のために

５月24日　１面･社会面

大分市の小学６年の男児がこの春、がん治療などで髪に悩む子どもへの「ヘアドネーション」（髪の寄付）のために２年間伸ばした髪を切りました。難病の妹に対する思い。肺を移植した両親の葛藤。背景にあった命を紡ぐ家族の物語をたっぷり描きました。

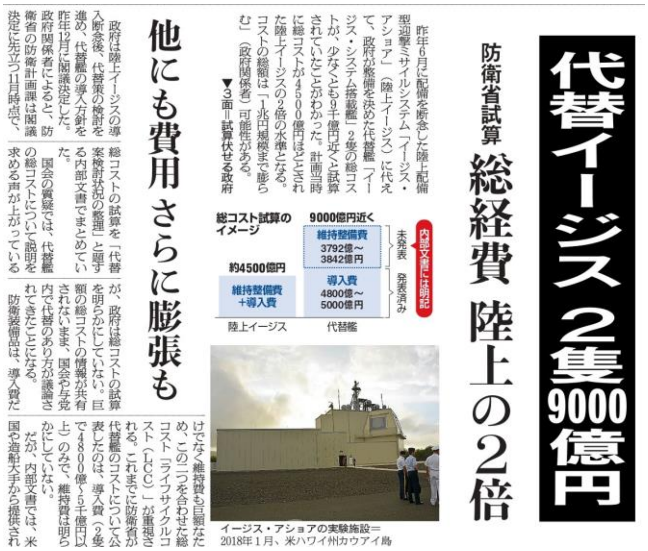
取材した記者

沢　伸也
編集委員

「学校へ行けてうれしい」「２年ぶりの誕生日会だね」。家族からこぼれる言葉を聞き、当たり前の日常に潜む幸せを実感させられました。つらい思いを一緒に乗り越えた家族だからこその言葉かもしれません。デジタル版では記事だけでは伝えきれなかった家族の動画＝ＱＲコード＝も見られます。ぜひご覧下さい。

前編

後編



代替イージス　2隻9000億円

防衛省試算　総経費　陸上の2倍

昨年6月に配備を断念した陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」（陸上イージス）に代えて、政府が整備を決めた代替艦「イージス・システム搭載艦」2隻の総コストが、少なくとも9千億円近くと試算されていたことがわかった。計画当時に総コストが4500億円ほどとされた陸上イージスの2倍の水準となる。コストの総額は「1兆円規模まで膨らむ」（政府関係者）可能性がある。

▼3面＝試算伏せる政府

総コスト試算のイメージ
約4500億円
維持整備費＋導入費
陸上イージス
9000億円近く
維持整備費
3792億～3842億円
導入費
4800億～5000億円
代替艦
未発表
発表済み
内部文書には明記

イージス・アショアの実験施設＝2018年1月、米ハワイ州カウアイ島

他にも費用 さらに膨張も

政府は陸上イージスの導入断念後、代替策の検討を進め、代替艦の導入方針を昨年12月に閣議決定した。政府関係者によると、防衛省の防衛計画課は閣議決定に先立つ11月時点で、総コストの試算を「代替案検討状況の整理」と題する内部文書でまとめていた。

国会の質疑では、代替艦の総コストについて説明を求める声が上がっているが、政府は総コストの試算を明らかにしていない。巨額の総コストの情報が共有されないまま、国会や与党内で代替のあり方が議論されてきたことになる。

防衛装備品は、導入費だけでなく維持費も巨額なため、この二つを合わせた総コスト「ライフサイクルコスト（LCC）」が重視される。これまでに防衛省が代替艦のコストについて公表したのは、導入費（2隻で4800億～5千億円以上）のみで、維持費は明らかにしていない。

だが、内部文書では、米国や造船大手から提供され

代替イージス　コスト膨張

５月21日　１面･３面

秋田、山口両県への配備計画が断念となったイージス・アショア。その代替としてつくられる艦艇２隻の総コストが、自衛隊の艦艇では過去に例がないほど巨額になるとの試算を、防衛省がまとめていました。金額は国会議員にも明かされぬままです。そうした実態を独自に取材して報じました。

取材した記者

伊藤　嘉孝
東京社会部

前代未聞の巨額コストになるかもしれない――。そんな情報を手がかりに、東京社会部・調査報道班を中心にチーム取材を進めたところ、金額が記された内部文書の存在にたどりつきました。税金の使われ方として妥当なのか。国会では野党が追及を始めました。取材も続いています。